

楽しく美しい まちづくり通信…⑥2

六月、北東北も本格的な梅雨を迎えました。

この時期、雨がよく似合う花があります。アヤマ科の仲間たちです。

一般によく知られている、ハナシヨウブやアヤマは山野を中心に自生し、庭先などにも観賞用に植えられています。また、園芸種として人気の高いジャーマンアイリスなどがあります。

このジャーマンアイリスに魅せられ、栽培に取り組んでいる玉木謙造さん、マサさんご夫婦を訪ねました。

原産は地中海沿岸で、ヨーロッパで古くから栽培されています。日本には昭和三〇年代に入ってから本格的に導入され、現在ではその品種は二千種を超えるといわれています。

十七年ほど前、マサさんが市日で数本購入したのがきっかけ

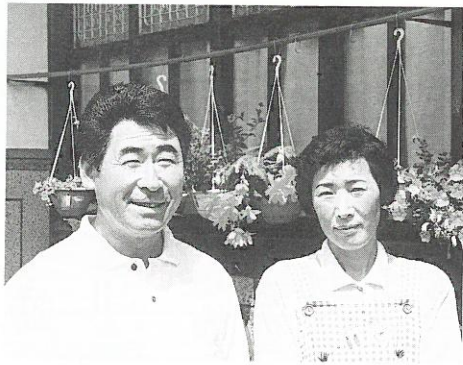
初夏彩る いんこ

ジャーマンアイリス

豪華な雰囲気を漂わせる花姿

となり、少しずつ増やし続けてきたといえます。しかし、品種も多く毎年新品種が発表され、小遣いで購入するには大きな負担となりました。そんなとき、

花に興味を持ち始めたご主人の謙造さんが協力をしてくれたといえます。園芸店の会員となつて安く購入したり、県外の栽培者を二人で訪ね、少しずつ品種を増やし、増殖に努めてきたそうです。本格的に栽培を始めたのは十三年前、今では百種類を超えるといえます。



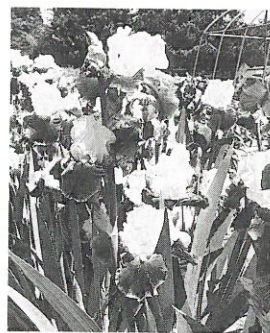
玉木謙造さん・マサさん

玉木さん宅は、水田五畝を経営し、育苗、刈り取り、乾燥調整十二畝を受託する稲作農家です。

「田植えが終わると花の手入れをします。この花は農作業と合わないのが良い」と謙造さんは言います。

奥さんのマサさんは、「ハナシヨウブもいいけど、花の時期が短いんですよ。ジャーマンは長く、上手に育てると十段以上にもなつて咲くんですよ。それになんといつても、色合いが豪華で上下の花びらの色や形の変化、その組合せが言葉では表現できない」と言います。また、最近では市内や近隣の町村から見学に来る方が多くなり、趣味で始めた花づくりから今ではたくさんさんの知り合いができた、嬉しそくに話してくれました。

家のまわりには、数え切れないほどの花が咲き乱れ、お二人の笑顔に見送られながら、花園を後にしました。



ジャーマンアイリス

玉木さん宅へは、県道二戸田子線を十文字川沿いに進み、上斗米中学校付近で右折します。中沢地区を通ってまもなくすると玉木地区です。金田一川にかかる小さな橋の手前を左折します。

栽培のポイント

日当り、風通しがよく、土は排水のよい、やや乾き気味の弱アルカリ性の土壌を好みます。

植えかえ、株分けは二、三年に一度とし、花後、親株を切り離します。浅植えにし、植えつけが早いほど、株は充実して花付きがよくなります。

乾燥、寒さには強く、霜除けも不要ですが、高温多湿には弱いので排水の悪いところでは鉢植えにしましょう。

☆花の見頃は六月中旬

こよみ



8月11日～9月10日

★8月★

- 11日(火) 市民生活相談(市役所市民相談室)
- 12日(水)
- 13日(木)
- 14日(金) 終戦記念日
- 15日(土)
- 16日(日)
- 17日(月)
- 18日(火)
- 19日(水)
- 20日(木) 2歳児歯科健康診査(市保健センター)、法律相談(市役所市民相談室)
- 21日(金)
- 22日(土)
- 23日(日)
- 24日(月) 市長と語るうり日(市長室)
- 25日(火)
- 26日(水) 育児相談(市保健センター)
- 27日(木)
- 28日(金)
- 29日(土)
- 30日(日)
- 31日(月)

★9月★
1日(火) 10カ月児健康診査